

サンバイザーのプレートは固定されていますか？

通信販売で購入した自動車用サンバイザーが、走行中に下がってくる事例が発生。商品テストの結果をご紹介します。

国民生活センターに「通信販売で購入したサンバイザーを自動車に取り付けたところ、走行中に昼間用プレートを自然に下がってきてしまった。原因を調べてほしい」という依頼が寄せられ、商品テストを行いました。

テストの内容

当該品「パーフェクトビュー デイ&ナイトバイザー」の同型品を10個用いて、次のテストを行いました。

- ① 新品時の昼間用プレートを下げるのに必要な力を測定
- ② 昼間用プレートを、手で100回繰り返し上げ下げする
- ③ ②の後に、昼間用プレートを下げるのに必要な力を再度測定する

④ 運転席に実際に取り付けて走行する

テストの結果

上記テスト①と③を比較したところ、昼間用プレートを下げるのに必要な力は、繰り返し上げ下げをすると、新品時の約5分の1にまで低下していました。

この状態で実際に走行してみると、10個のうち5個が大きな段差を乗り越える時に昼間用プレートが下がってしまいました。

消費者へのアドバイス

運転中に不意にプレートが下がると、事故につながる危険性があります。プレートの固定がゆるいと感じたらすぐに使用を中止してください。

なお、当該品の発売元である株式会社テレビショッピング研究所は、消費者からの問い合わせに対応していません。詳細は事業者（株式会社テレビショッピング研究所 ☎ 0120・358・130 または 0120・222・558）にお問い合わせください。



★消費生活センター業務時間
時間・場所
①～⑤ 8時30分～17時
(来所は9時～16時)
本庁舎1階 消費生活相談室
相談専用電話 ☎ 574-2233



地域の魅力 ふる里再発見

伊達政宗生誕450年記念 伊達政宗と伊達市 第1回 伊達政宗の誕生

今年、伊達政宗の生誕から450年という節目の年になります。伊達市保原歴史文化資料館でも、政宗生誕450年を記念した特別展「伊達政宗と伊達市」を行います。

伊達政宗は、永禄10年（1567年）8月3日、山形県の米沢の地に生まれました。父は、伊達家16代当主である伊達輝宗、母は、羽州探題である最上義守の娘、義姫でした。伊達政宗の幼少の名は、梵天丸、そして幼少期の政宗を支えた一人が、師ともなる虎哉宗乙でした。

かつて伊達氏の本拠として重要な役割を果たした伊達郡は、伊達家15代当主晴宗の米沢進出以後、本拠としての機能を失いました。しかし、晴宗が隠居後に杉目城（現在の福島市）に移ったことから、伊達氏にとって、福島盆地が米沢移転後も、戦略的にも政治的にも重要な地であったことをうかがい知ることが出来ます。

伊達の地には、米沢への

本拠移転後も、伊達家の氏神であった梁川八幡宮や多くの寺院が残っていたものと考えられます。また、境界を接する相馬氏との対立が深まり、1566年には伊具郡金山城が、1570年には小斎城が相馬氏の手

に陥ることになりました。相馬氏との戦の中で、伊達は境界線に位置する重要な地となっていたことが分かります。また、米沢へとつながる文化が育まれた地でもあったのです。

次回からは、特別展「伊達政宗と伊達市」の見所などと一緒に伊達政宗と伊達の歴史を見ていくことにします。



伊達晴宗の墓（福島市：宝積寺）